http://decfamily.p1.bindsite.jp/2013NEW/

We 25R

No.191　03/04/23

面接中

個人面談がだいたい半分くらい済んだ。最初だから、顔合わせの挨拶が中心だが、最初の学級通信にも書いたとおり、このクラスは３年生まで持ち上がることになるはずなので、私としてはやはり「勉強する」クラスになってほしいという思いがあって、話題の中心は勉強のことである。

１年の時に担任をしていた生徒は４人しかいないので、残りの諸君には、まず君たちがどのくらいの成績を取ってきたのかを確認している。前期中間試験からほぼ変わらない成績を維持している人もいれば、一貫して下がり続けている人、部活でちょっと下がったがこれではいけないと奮起して後期に挽回した人、定期考査には強いが模試や実力テストになると成績が下がる人、逆に、模試には強い人など、人それぞれであるが、その理由を分析してもらって、それについて話してもらうことをスタートにすることが多い。だいたい正確な自己分析ができているので、あとはそれをもとにして、これからの生活をどうしたらいいのか、どうしたいのか、を考えてもらったりアドバイスしたりしている。

部活をやっている人が多いから、当然、両立に苦労している人がほとんど。これはもう仕方ない。とにかく頑張るしかないし、今の頑張りが、いよいよ受験勉強が本格化した時に、体力面でも気力面でも君たちを支えてくれることになるはずだから、安易に両立を諦めないで、前向きな気持ちで努力を続けるしかないだろう。具体的には「眠くなる」という悩みが多いが、帰宅したら夕食まで先ず仮眠するとか、食後30分仮眠するとか、顔枕を買っておいて眠くなったら机で30分仮眠するとか、ちょっとした空き時間（授業の合間とか昼休みとか）に仮眠するとか、いっそのこと、毎日９時過ぎには寝て朝４時くらいから勉強を始めるとか、まあ、時間の使い方を工夫したり、友だちどうしで励まし合ったりするしかないだろう。

自分の勉強部屋があるかどうかを確かめることも多い。というのは、３年生になったら自分で勉強する時間が圧倒的に増えるわけで、その物理的な条件（環境）を整えることも、長い目で見るととても大切だからである。勉強部屋があっても、マンガやゲーム・テレビといった勉強を妨げる誘惑要因が同居しているようでは意味がないし（目に入らないように片づけましょう…）、散らかりすぎていてとても勉強できる環境ではないという人もいたが、受験勉強のスタートを切るころまでには整理整頓をしっかりしておきたい。また、自分の部屋があるのに、リビングの方が勉強がはかどるという人もかなりいてちょっとビックリなのだが、それが自分に合っているならそれでも構わない。ただ、それで成績が改善しないということなら、環境を変えてみるのも一つのトライではあると思う。予備校の自習室を使うというのも、家と違って甘えが許されないから、健康管理（いつ夕食を摂るのかとか…）に注意して計画的にうまく活用すると効果的な面もあるだろう。